

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE; Carbapenem-Resistant Enterobacterales）

による院内感染について <第 11 報>

当院では、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）による院内感染について、引き続き対策を強化しております。

新たな CRE 陽性患者さんの確認

2026 年 5 月 8 日に、入院患者さん全員を対象とした 13 回目の CRE 検査（便）を実施しました。その結果、新たに CRE が検出された入院患者さんはありませんでした。

今後も、この良好な状況を継続できる様、引き続き院内全体で感染対策の徹底に努めてまいります。

また、現在 CRE 保菌者として院内で隔離入院されている患者さんについても、感染対策を徹底したうえで対応しており、いずれの患者さんにも症状は見られておりません。

専門家を交えた会議の開催

この結果を踏まえ、2026 年 5 月 18 日には拡大院内感染防止対策委員会を開催（定例会議として開催）いたしました。

当院の感染対策メンバーに加え、静内保健所、国立感染症研究所、道立衛生研究所、さらには徳洲会グループ本部の専門家の方々に、オンラインまたは対面でご参加いただき、感染対策に関するさらなる協議を行いました。

専門家の方々から貴重なご意見をいただき、今回の結果説明をさせていただいた中で、3 か月連続にて当院からの発症例が無かったことから、入院患者さん全員の検査から、発症報告の多い病棟のみの検査へ移行しても良いのではないかと提言があり、次月（次回）よりは、必要な病棟のみの検査とし、今後とも検査は継続するものの規模は縮小してまいりたいと考えております。

今後も引き続き、必要な患者さんの CRE 検査を定期的実施し、感染対策を徹底してまいります。

患者さんやご家族の皆さまにはご心配をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。また、感染状況や当院の対応については、今後も定期的に情報を公開してまいります。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本件に関するご意見・お問い合わせは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】 contact@hidakatokushukai.com

2026 年 5 月 19 日

日高徳洲会病院 院長 井齋 偉矢